

令和7年

第17回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和7年第17回教育委員会会議 議事録

- 1 期 日 令和7年11月6日 木曜日
- 2 場 所 教育委員室
- 3 開 会 午前10時
- 4 閉 会 午前11時45分
- 5 出 席 者 教育長 安田 浩幸
委 員 奥 真由美
吉村 昌之
松塚 智宏
大塚 美穂子
高橋 重剛

- 6 説明のための出席者
教育次長 鈴木 雄輝 教育次長 久慈 隆正
総務課長 高橋 公康 高校教育課長 古屋 桃香
特別支援教育課 小山 高志

- 7 会議に付した事項
議案第38号 教職員の懲戒処分について

- 8 可決した事項
議案第38号 教職員の懲戒処分について

- 9 報告事項
(1) 第23回秋田県特別支援学校文化祭について
(2) 特別支援学校就労促進フェアについて

- 10 会議の要旨

【安田教育長】

ただいまから、令和7年第17回教育委員会会議を開催いたします。
本日の議事録署名員は1番奥委員と2番吉村委員をお願いいたします。
審議に入る前に、議事の進行についてですが、本日御審議いただく議案第38号は人事案件であることから、秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

それではそのように進行いたします。
はじめに、報告事項「第23回秋田県特別支援学校文化祭について」、特別支援教育課長から説明をお願いします。

【特別支援教育課長】

報告事項(1)「第23回秋田県特別支援学校文化祭について」説明概要

- ・今年度は、リーフレットに記載の日程で、わくわく美術展、みんなの写真展、わくわくステージ等を開催する。
- ・わくわくステージは8月1日、2日に「あきた総文2026」特別支援学校部門プレ大会

を兼ねて、約 150 名の生徒が日頃の学習成果を披露した。来年度は本大会として実施予定。

- ・ 全県各地の多くの方々に、特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の作品を見ていただき、特別支援教育に対する関心を高め、理解を促進したいと考えている。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【松塚委員】

以前、美術展をイオンモールで拝見したのですが、本当に素晴らしい質の作品が多くありました。一般の方が、このような素晴らしい作品に触れる機会は非常に大事だと思いますので、是非今後多くの人に見ていただける場面で展示を続けていただきたいと思います。

【安田教育長】

他になければ、次に、報告事項「特別支援学校就労促進フェアについて」、特別支援教育課長から説明をお願いします。

【特別支援教育課長】

報告事項（２）「特別支援学校就労促進フェアについて」説明概要

- ・ 県内の事業主や企業関係者をはじめ、広く県民に特別支援学校の生徒や、職業教育に対する理解と特別支援学校生の就労促進に対する理解を図ることを目的として県内 3 地区で開催する。
- ・ 働きたいという思いや、学校での学びを生徒が伝える実践発表を行うほか、秋田県特別支援学校技能競技会の実施、作業製品の販売会及び展示等を実施する。
- ・ 各地区の企業関係者が広く参加するよう、関係機関と連携し、呼びかけを行っている。
- ・ 各地区で行われる技能競技会は、ビルクリーニング、喫茶サービス、ワードプロセッサの 3 種目のほか、県北地区では縫製を加えた 4 種目で行う。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【大塚委員】

意見ですが、支援学校の生徒たちは、書くことは苦手でも、ワードプロセッサの操作は非常に上手な生徒も多く居ます。こうしたデジタルスキルは就職先の範囲を広げるために非常に重要です。例えば介護職でも入力作業は必須ですし、私たちの世代よりも生徒たちの方が高いスキルを持っている場合もあります。スマートフォンの使い方など課題もありますが、学校で指導を強化し、生徒たちの能力をさらに伸ばしていただければ、より多くの職域が広がるのではないかと感じております。

【特別支援教育課長】

ありがとうございます。企業からも入力作業だけでなく、「この仕事と事務作業をセットにすれば受け入れやすい」とのアドバイスをいただいております。各学校で表計算なども含めて指導しているところです。

【吉村委員】

部局横断プロジェクトについてですが、このフェア以外にどのような企画をされているか教えてくださいいただけますか。

【特別支援教育課】

今年度は特に建設部から強いアプローチをいただいております。建設業界の自在不足と、こ

ちら側の就労促進をマッチングさせるため、「建設未来フェスタ」といった事業に特別支援学校の進路指導担当者が参加したり、逆にこの就労促進フェアに建設関連企業の方々に来ていただいたりするなど、互いの企画に乗り合わせて周知、参加を促す連携を図っています。

【吉村委員】

まずは知ってもらうことが一番大事だと思います。生徒たちが持つ、皆さんが思っている以上の能力をしっかりと見ていただくことは重要ですので、この横断プロジェクトは非常に良い取組だと思います。さらに進めていただければと思います。

【奥委員】

2点お伺いします。1点目として、技能競技会に参加する生徒はどのように選ばれているのでしょうか。2点目として、喫茶サービスの部分について、サービスの内容は配膳のみなのか、接客も含めて行うのかを教えてください。

【特別支援教育課長】

参加生徒の選抜は各学校に任せておりますが、多くの学校で校内選考会を実施しており、それが生徒たちの緊張感や意識を高めることにつながっています。この競技会は、県大会である「アビリンピック」への出場、さらには全国大会へと繋がっていきます。縫製競技に参加した生徒は、今年度全国大会で入賞しており、そうした先輩の活躍が後輩たちのモチベーション向上にもなっております。

次に喫茶サービス競技ですが、審査員はホテル関係者など専門家をお願いしています。競技内容は、お客様の入店からオーダーの聞き取り、配膳、そして退店後の片付けまでの一連の流れを評価します。お客様の状況を判断し、次に何をすべきかという判断力、お客様との自然な会話、笑顔なども採点基準に含まれます。

【奥委員】

会話や笑顔も評価されるのですね。

【特別支援教育課長】

お客様が自由に話しかけてくださった際に返せるかどうかポイントになりますし、笑顔も採点基準に入っております。

【安田教育長】

ここで、「5 その他」として何かございませんか。

特になければ、議案第38号は人事案件であることから、秋田県教育委員会会議規則第25条により秘密会といたします。傍聴の方は退室願います。

※秘密会のまま終了